

今後の地域での取組について

秋田能代・三種・男鹿
オフショアウインド合同会社
2025/11/27



NOSHIRO MITANE OGA
Offshore Wind

今後の地域での取り組み

- 洋上風力撤退後も、現在取り組み中の施策は着実に完遂（具体的な取組事例を次頁以降に記載）
将来施策（来年度以降）についても、個別に関係者と協議しながら今年度中に取組方針を決定
➡ 「取組方針(案)」は以下の通り：

- ✓ 継続予定の共生策については、必要な情報・ノウハウを整理し、今年度中に関係者（漁協、自治体等）に引継ぎ、来年度以降の関係者の主体的な取り組みを支援する
- ✓ 具体的には、以下の既往共生策を中心に、継続・拡充に向けた支援内容を個別協議中
 - ①漁業共生策：養殖事業、放流事業、販売支援等
 - ②地域共生策：AIオンデマンド交通、STEAM教育プログラム等

- 三菱商事 秋田支店は継続、洋上風力以外の事業や地域の課題解決に引き続き取り組む
➡ 「洋上風力発電を契機とした秋田の未来づくり会議」とは別に、来年度に開催予定の「三菱商事との秋田の未来づくり会議」に向けた準備会議を開催（11月14日）
 - ✓ 三菱商事グループの事業やネットワークを活かし、地域課題の解決に取り組む
- 早期の再公募実現に向け、政府の情報提供開始に合わせたデータ提供を行う予定
➡ データ提供に向け準備中

能代市

- 能代市と連携し、AIを活用したオンデマンド交通の通年導入に向けた実証支援を進めています。
- 2025年10月12日、13日に開催された「のしろ産業フェア2025」に参加する等、周知活動に協力しています。
- ルート決定には、三菱商事グループ企業（スペア・テクノロジーソリューションズ社）のAI活用型乗合運行システムを導入し、技術面からも本事業を支援しています。

三種町

- 2025年8月28日には浜口小学校を会場に教員向けのSTEAM研修会を開催し、昨年に続き、三種町教育委員会へ「プログラミング未来車と信号」を5セット追加寄贈しました。
- 翌29日には浜口小学校の児童を対象にSTEAM教育の出前授業を、東京学芸大学こども未来研究所の研究員を講師として迎えて開催しました。

<のしろ産業フェア2025での周知活動の様子>



<三種町教育委員会へのキットの追加寄贈、研修の様子>



漁業共生策：アワビ稚貝放流（男鹿市）

- 2025年11月6日、男鹿市の若美漁港・北浦漁港それぞれにて、地元漁業者さまと共にアワビの稚貝約1,000個（殻長4cm程度）の放流を行いました。若美漁港では2024年から、北浦漁港では今回が初めての取り組みとなり、当社は放流方法の検討、稚貝の手配などを支援しました。
- 放流には地元漁業者さまと当社職員が参加し、稚貝はタイ等の天敵に捕食されない様、海中の消波ブロックの隙間に丁寧に配置されました。
- アワビの稚貝は1年で1~2cmずつ成長し、採取可能サイズ（殻長10cm）に達するまでには3~4年かかる見込みです。
- 地元漁業者さまからは、「海洋環境の変化で漁獲が減っている中、高価なアワビが地元で多く水揚げできるようになれば嬉しい」という声をいたいただいております。
- 放流の様子は地元紙にも取り上げていただきました。

<放流したアワビ稚貝>



<放流時の様子(若美漁港)>



<放流時の様子(北浦漁港)>

